

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ  
第25回文法研究ワークショップ

「グロス付けどうしてる？」

–例文提示におけるグロス付けで生じる困難の解消に向けて–

開催のお知らせ・参加者募集

趣旨説明

記述言語学の成果報告における例文データの提示においては、各形態素の意味や文法機能を読者が分かるようにグロスを付すことが求められる。グロス付けは分野内外の読者にも通じるように、形態素境界の種別や文法形態素の機能を示すための規則が提案されている（例: Bickel et al. 2004\*, Lehman 2004\*\*）。しかし、個別言語の記述を行う上では、機能の特定や略号の設定、意味機能が広い形態素の扱い、表記法との併記などの点で、グロス付の処理に悩む場面が生じる。このワークショップでは、LGR (Leipzig Glossing Rules\*) の内容を確認しつつ、グロス付与でそれぞれが持つ疑問や悩みを共有・検討する。

\* Bickel, Balthasar & Comrie, Bernard & Haspelmath, Martin 2004, The Leipzig Glossing Rules. Conventions for Interlinear Morpheme by Morpheme Glosses. Leipzig: Max-Planck-Institut für Evolutionäre Anthropologie. \*\* Lehmann, C. 2004. Interlinear morphemic glossing. In: Booij, G., Lehmann, C., Mugdan, J., Skopeteas, S. and Kesselheim, W. (eds.) 2. *Halbband: Ein internationales Handbuch zur Flexion und Wortbildung*. Berlin • New York: De Gruyter Mouton, pp. 1834-1857.

日 時 2024年2月3日（土）14:00–17:30

場 所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）マルチメディア会議室  
（304）+ Zoom 会議室

※Zoom 会議室の URL は、参加者に開催日前日までに連絡します。

問題提示

占部由子（AA研／日本学術振興会）「例文へのグロスづけの方法と運用上の難しさ」

話題提供

深谷康佳（広島大学）「変化の最中にありそうな形態素をどのように表記・説明するのか」

加藤幹治（東京外国語大学大学院／ROIS-DS-CODH）「データ蓄積にともなう分析の修正：何が問題で、それにはどんな技術が役立つそうか」

石川さくら（東京外国語大学大学院）「ベンガル語のグロス付け：分詞と完了形に着目して」

ファシリテーター

品川大輔（AA研）

## プログラム

1. 14:00–14:15 参加者自己紹介（対象言語）
2. 14:15–15:00 問題提起
3. 15:00–15:45 各論  
（15:45–16:00：休憩）
4. 16:00–16:45 グループワーク（オンライン参加者はブレイクアウトルームで実施）
5. 16:45–17:30 全体ディスカッション

応募資格 フィールド調査に基づく言語研究で博士論文の提出を目指す大学院生（博士課程在籍中もしくは博士課程進学を目指す修士課程在籍中の学生）。参加登録時に、このワークショップのテーマにかかわる関心事、お悩みごとをできるだけ具体的に提示してください。議論への積極的な貢献を参加の条件とします。

※ 対面会場参加の方も wifi 接続可能なデバイス（ラップトップまたはタブレット）を持参ください。

※ なお、当日は東京外国語大学のネットワークが利用可能です。また eduroam も利用可能です。

参加費 無料

定員 対面参加 20 名程度（オンライン参加に関しては上限なし）

申込先 下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右の QR コードからでも同じページにアクセスできます。



(URL)

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeFVi1coa3NRSJJJeNk1pGEklPZYuLqSU3tIsLJNxqzF8TQ\\_AA/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeFVi1coa3NRSJJJeNk1pGEklPZYuLqSU3tIsLJNxqzF8TQ_AA/viewform)

申込締切 2023 年 1 月 31 日（水）正午

問い合わせ先

「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」事務局

dddling-office[at]tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信してください）

共催

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究（言語学）「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」

東京外国語大学学際研究共創センター（TReND センター）

東京外国語大学多文化共生イノベーション研究育成フェロシップ（MIRAI フェロシップ）